

2023.7.20



地域日本語支援ニュース こだま 第433号

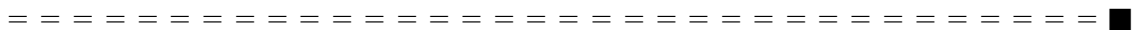
ともに生きる  
～地域で、日本で、そして世界で～



★—— メールマガジンをお読みいただき、ありがとうございます。——★  
【地域日本語支援ニュース 「こだま」】は、日本語教育に関する事業を全国で行っている公益社団法人国際日本語普及協会（AJALT）発行のメールマガジンです。各地域で在住外国人に対する日本語・生活支援に携わっている方々に役立つ情報の共有を目指していきます。

★—— 皆様からのご意見、ご感想をお待ちしています。——★

編集部：<https://www.ajalt.org/local/soudan/contact.html>



■私たちの挑戦：埼玉県さいたま市から■

さいたま市の「日本語話そう大久保東『ともだち』」は、近隣の外国人の要望に応じて2020年12月に開設しました。コロナ感染症が広がる中でも休むことなく、公民館とオンラインの両方で活動を続けてきました。そして今、新しい動きが起きています。帰国した参加者が、帰国先からオンラインで参加して会話の輪が広がっています。

代表の浮池（ふけ）さんにその様子を伝えていただきます。



海を越えて広がる輪

日本語話そう 大久保東『ともだち』

代表 浮池 順子

◆開始は2020年12月26日土曜日

大久保東公民館が新しく募集した日本語ボランティア講座の参加者20人で

教室を新しく開始、ゼロからの出発でした。公民館の会場で開始した翌週から緊急事態宣言により、オンライン教室開設の必要性が起きました。

公民館では1か月様子を見たあと予防対策をして活動を再開、同時にオンライン希望者は同じ時間にzoomで行なってきました。

毎週金曜日と土曜日に公民館に10名前後、zoomにも10名前後、小中学生、埼玉大学の留学生、主婦、さまざまな方々が参加。「こんにちは『ともだち』です」と言って始まります。日本語の教科書は使わず、会話をしながら日本語を身につけていくことを目指しています。

それぞれの会話の輪が広がっています。

#### ◆WITH コロナの今

ちょうどコロナの落ち着いたところに、あいついで帰国した『ともだち』メンバーがそれぞれの国から参加するという、思いがけないことが続いています。現在、オンラインによって、海外の方が参加している日本語教育も多いと思います。しかし、帰国してしまい「これで会えない」「お別れ」と思ったメンバーとの再会という、うれしい経験を私たちはしています。

#### ◆世界から参加、再会の喜び

来日前にネパールから参加してくれるケースもありました。「『ともだち』ZOOM班」にとって、これが海外との画面越しの交流の第一歩でした。2021年春、ご本人は大学の研究生としてさいたま市に居住し、夫人がネパールからオンラインで突然参加、いまはご夫妻共にさいたま市でいっしょに暮らしています。

今後も、国を超える、文字通り海を越えた交流を続けていきます。

#### ◆参加者の声・北京から ハンドルネーム霧さん

日本に留学に来た頃、日本語は難しいなあとあって、今まで勉強した日本語を使おうとしても、話が喉に詰まって、口から出てきません。電話も、バイトも、訪ねてきたお隣りさんとも話は通じませんでした。それに、もう一つのこと気づきました。日本にいるのになかなか日本語を使う機会がないということです。学校の研究室では日本人学生たちのグループに入れられないし、授業では聞く一方だし、日常会話を話す相手がいませんでした。

せっかく日本に来たのに、ちゃんと日本語を話さないといけないと思って、ネットで調べると、地域日本語教室の情報が出てきました。どきどきして、大久保東公民館の日本語教室に連絡したら、向こうから優しい声が伝わってき

て、すぐ安心して、予約しました。初めて教室に行った時に、皆の笑顔が私の不安を消して、自然にどんどん話しました。2021年から、私は毎週日本語教室に3回ぐらい行っていました。

ネパール、ベトナム、韓国、タイ、モンゴル、教室の学習者は世界のいろいろなところから来て集まるってすごいと思います。皆は自分の国の独特なものを紹介したり、非常に楽しかったです。ボランティアの皆さんも明るくて、面白いことをシェアします。日本語教室に行った時は、日本にいた間で一番楽しかった時間です。今もう帰国して、北京に住んでいます。周りの人が日本語をしゃべらないので、話すチャンスはさらに少なくなります。

幸いなことは日本語教室のzoomに参加できます。日本にいなくても、日本語教室で世界につながるって、とてもいいと思います。まるで世界の架け橋です。

#### ◆参加者の声・台湾から 映竹さん

交換留学の間、大久保東公民館と「さいたま市にほんごのへや」の皆さまに出会いができて幸せでした。日本語を勉強しながら、楽しいことや悩みをシェアしてよかったです！

#### ◆参加者の声・韓国から スクヨンさん

長男が埼玉大学の学生なので『ともだち』のことを知りました。それで韓国からzoomで『ともだち』に参加し、最初にボランティアの高橋さんとzoomで話しました。今はさいたま市に来ているので、大久保東公民館での『ともだち』に参加し、高橋さんに実際に会いました。会話をたくさんしました。

ここ『ともだち』の日本語の会話はとても役に立ちます。みなさんやさしくて親切なので、みなさんのことが好きなんです。さいたま市の『ともだち』に日本の友だちがいるのは、とてもうれしいです。私はここ『ともだち』に来るために、また日本へ来ます。8月に、また来ます！

フェイスブック

<https://www.facebook.com/profile.php?id=100058441853935>

ホームページ <https://tomodachi.localinfo.jp/>

\*こだま第401号（2021年度）に開設当時の記事が記載されています。

<https://www.ajalt.org/kodama-emag/backnumber>